

令和7年度 第3回 技術研修会 プログラム

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 令和 7年10月29日(水) |
| 2 場 所 | 北九州市生涯学習総合センター 31学習室
(北九州市小倉北区大門一丁目6番43号) |
| 3 受 付 | 13:00より |
| 4 研 修 | [3部構成] 第1部及び第2部 賛助会員(株)ヤマウチコーディネイト |

【第1部】 管きょ更生工法の概要と特殊設計事例の紹介

研修時間 : 13:30~15:00 (質疑応答含む)

講 師 : 積水化学工業(株) 環境・ライフラインカンパニー 総合研究所
エンジニアリングセンター 管路更生グループ 北岡 豊 氏

管きょ更生工法の施工実績は、12,000km を超え、管路施設の改築などを行う上で、必要不可欠な技術となっています。今後も、日本全国で発生している大規模地震に対する耐震化や、経年に伴う施設劣化が進んでいくことから、ますます需要が見込まれています。

本講義では、管きょ更生工法の概要や新工法を含む日本 SPR 工法協会保有工法の説明をはじめ、蓋掛水路や石積水路に対する更生管設計事例を紹介します。

【休 憩】 15:00~15:10

【第2部】 既存下水道管路施設の耐震対策

研修時間 : 15:10~15:40 (質疑応答含む)

講 師 : 下水道既設管路耐震技術協会 九州・沖縄支部 長嶋 章太郎 氏

震災時のライフラインの確保は重要な課題です。下水道施設の耐震化もこの中の一つです。

特に被害の集中する「マンホールと管接続部の耐震化」及び「マンホールの浮上抑制」の必要性は高まっています。

しかし、開削工事による既設管路の耐震化は、費用の増大以外に、施工期間の長期化により、地域住民の生活及び交通に影響を与えます。

本協会では、これらの諸問題を解決する「非開削による地震対策3工法」を取扱っています。

【休 憩】 15:40~15:50

【第3部】 新設から維持管理まで支える下水道ソリューション

研修時間 : 15:50~16:50 (質疑応答含む)

講 師 : 技術本部 副本部長 佐藤琢巳 氏、九州支社 営業部 福島未玖 氏

全国的に下水道施設の老朽化が進み、更新費用や維持管理の負担が課題となっています。

当社は、新設管に対し硫化水素の発生を抑制する「ビックリート製品」や硫酸に強い性能を備え、環境にも配慮をした「e-CON」を提供し、長寿命化と環境負荷低減に貢献します。

さらに既設管については、劣化状況を把握し寿命を予測できる診断システムを備えており、効率的な更新計画と安心した下水道運営をサポートいたします。